

# 「牧之原市立図書館基本計画」を策定しました

このたび、市では、平成30年度に設置された「牧之原市図書館協議会」などでの協議を踏まえ、「牧之原市立図書館基本計画」を策定しましたので、基本理念や基本方針などについてお知らせします。  
市では今後、この計画をもとに、図書館サービスの充実や図書館の環境整備などについて取り組んでいきます。

問い合わせ 社会教育課 水野 ☎③2646

## 計画の目的

本市の目指す図書館の拡充計画や方針を明らかにするとともに、新しい図書館の建設よりも今ある施設の拡充や代替施設の活用といったことを根幹に、効果的かつ機能が充実した図書館サービスを提供することを目的としています。令和元年度から5年度までの5年間の中で具現化し、各館の図書館サービスが着実に改善充実することを目指します。

## 基本理念

「ささえ つくり つなぐ 牧之原市の図書館」

図書館は本の貸し出しだけでなく、市民のくらしを支え、訪れる人同士が交流する場としての機能も持っています。  
本市では、図書館が市民生活を支える知や文化の拠点であるとともに、資料や情報を通じてさまざまなかたちで市民が出会う場として重要な役割を担うものであるととらえています。

## 〔基本方針〕

### 資料の充実と専門職員の配置

くらしを支える専門サービス

市民のニーズと日本図書館協会の「図書館の自由に関する宣言」に基づき、すべての市民のくらしにつながる資料を収集し、保存し、提供します。また、職員の資質向上を図り、充実した図書館サービスを提供します。



### ささえ つくり つなぐ 牧之原市の図書館

#### 図書館システムの構築

あなたと図書館をつなぐネットワーク

市民にとって図書館を身近な存在とするため、市内の公立図書館のネットワーク網を構築し、資料の検索や貸借、生活情報の収集などにも活用可能とするなど、市民の利便性を高めます。

### 環境の整備とスペースの確保

であいを創る交流・憩いの場

今まで図書館を利用していなかった市民も含め、すべての市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場を作ります。



# いずれ来る大災害 その時あなたは大丈夫？

近年、全国各地で地震や台風などの災害が発生し、大きな被害を受けています。本年10月には日本列島を台風19号が襲い、大雨による土砂災害、高潮、河川の増水など、私たちの住む牧之原市にも爪痕を残しました。  
今後もいつ大きな災害が起こるかわかりません。その時の準備はできていますか？

問い合わせ 防災課 吉田 ☎③0056

## 家庭の備蓄

日常生活で使うものを多めに買い、使ったら買い足す「ローリングストック法」がおススメ

大規模災害が発生した場合、交通網や行政機能がまひして、救援物資はすぐには届きません。日ごろから家族の人数×7日分の備蓄を各家庭で準備しましょう。  
また、それとは別にすぐに持ち出せる「非常用持出し袋」を用意し、最低限のものを入れておきましょう。

### 〔家庭の備蓄の例〕

- ▶飲料水（1人分目安） 1日3L×7日分=21L
- ▶食料品（1人分目安） 1日3食×7日分=21食
- ▶カセットコンロ 食品を温めたり、お湯を沸かしたり、簡単な調理ができます。
- ▶ガスボンベ ボンベ1本で1.5Lのお湯が約10回作れます。
- ▶災害用携帯トイレ ホームセンターなどで手軽に購入できます。
- ▶その他 幼児や高齢者、アレルギーを持つ人など、家族の状況に応じた食料備蓄が必要です。



## 情報収集手段

さまざまなツールを活用して、積極的に情報を収集しましょう

市からの避難の呼びかけは、同報無線や市のホームページ、まきのらTeaメール、緊急速報メールなど、さまざまな方法でお知らせしています。  
台風や大雨などの風水害の場合、事前に天候や河川の状況などをテレビのデータ放送やインターネットで把握することができます。また、スマートフォン向けの総合防災アプリ「静岡県防災」では、平常時の防災学習や緊急時の行動をサポートする情報を提供することができます。

### ▶同報無線テレホンサービス（☎③0999）

同報無線が聞き取れなかった場合などに、放送内容を電話で聞くことができます（通話料がかかります）。

### ▶テレビのデータ放送

リモコンの「d」ボタンで、天気予報や降雨状況、河川水位などを確認できます。

### ▶気象庁（http://www.jma.go.jp）

雨雲の動き、台風の勢力や進路のほか、土砂災害などに関する防災情報が提供されています。



### ▶サイボスレーダー（http://sipos.pref.shizuoka.jp）

秋間川・勝間田川・坂口谷川の水位情報などを確認できます。

### ▶静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」

普段の防災学習に役立てることができるほか、外出中に災害が起きた時にも警報・注意報などの気象情報を確認可能。現在地から周辺の避難場所の位置などを知ることができます。



静岡県HP  
アプリ紹介ページ

## 地震が起きたら避難は？

### 地震発生

- ▶南海トラフ地震が発生すると、震度7の最大クラスの揺れが起こります。
- ▶揺れている時間は、最長で4分ほど。東日本大震災の時には、3分以上揺れていました。

### 避難

- ▶地震が起きたら津波が襲ってきます。本市の海岸部分では、10メートルを超える津波が予想されます。非常用持出し袋を持って、早く、より高い場所（津波避難タワーや避難ビル、津波避難地）に逃げてください。
- ▶津波は繰り返し襲ってくることもあり、第1波より第2波のほうが大きな津波がくることもあります。津波警報が解除されるまで、避難先にとどまるようにしましょう。
- ▶日ごろから、ハザードマップで津波浸水区域などを確認して、どこへ逃げればいいのかなどを確認しておきましょう。

### 被災後の生活

- ▶自宅が無事であれば、自宅で生活を送ります。自宅の耐震化や感震ブレーカーを設置して、地震に強い家にならせます。
- ▶自宅での生活が困難な人は、避難所で避難生活を送ることになりますが、避難所の運営は避難している人たちで行います。積極的に運営に参加しましょう。